

3月29日 10:35 Bコート

田布施ミニバスケットボール 予選1試合目

岩手県代表 一関ミニバススポーツ少年団と対戦

1Q、一関の#4シュートで先制される。大会二日目から出場の田布施は、硬さが見えキャッチミスやパスミスが続いて、なかなか得点が取れず苦しい展開で、第1Qを8-4でリードされる。

2Qに入ると、田布施はパスの連携から得点、リバウンドから速攻と流れを掴み連続得点する。逆転して後半戦へ。

3Q、一関に2本のシュートを決められ点差が縮まる。自分達のミスから、得点できず4分間ノーゴールだったが、2本のシュートを決めて点差は変わらず第4Qへ。

田布施は#7のリバウンドシュートから一関を引き離す。残り1分30秒辺りから、一関がディフェンスを前からあたってきたが、田布施は冷静に対処して勝利した。

岩手県代表  
一関ミニバススポーツ少年団

山口県代表  
田布施ミニバスケットボール

	8	—	4	
22	4	—	11	31
	4	—	4	
	6	—	12	

3月29日 14:55 Dコート

田布施ミニバスケットボール 予選2試合目

長野県代表 松本南部と対戦

1Q、田布施は#9のパスカットから2点を先制する。その後、両チーム堅いディフェンスでシュートを決める事が出来ない。5-6でリードを許す。

2Q、松本南部は#9、#7の連続得点でリードを広げるが、田布施も#7、#6の3連続得点で逆転する。松本南部がタイムアウトを取るが、流れは変わらず、プレスからミスを誘い点差を広げる。松本南部も最後まで諦めず#5のブザービーターを決めるも25-18田布施リードで後半戦へ。

3Q、田布施が立て続けにシュートを決める。リバウンドから速攻や外角からのシュートも入りだし、このクォーターだけで14-2と大きく引き離す。

4Qに入っても田布施の流れは変わらない。ベンチメンバーを出すなど余裕をもって勝利し、決勝トーナメントへの進出を決めた。

山口県代表  
田布施ミニバスケットボール

長野県代表  
松本南部

	5	—	6	
49	20	—	12	30
	14	—	2	
	10	—	10	

田布施ミニバスは、全国的に身長も負けておらず、アウトサイドとインサイドのバランスの良さが特徴的であった。一関戦は、初戦という事もありミスも多く、いつもの田布施らしさは感じられなかったが、それ以外の試合は、落ち着いて試合運びと、堅いディフェンスで全国大会優勝を勝ち取った。

あらためて思うことは、ここ数年ミニバスケットボールのスキルや戦術の向上は著しいものがあるが、一番はメンタル面が大切であると思う。大舞台の中で練習してきたことが、いかに発揮できるかが勝利へのカギだと肌で感じた。

そのためには、バスケットボールだけでなく学校生活や家庭生活などでも充実した生活を送ることが大切ではないかと考える。